● 選考方法

下記審査委員による審査委員会にて、応募書類を基に、応募者の実績と将来性を審議した上で受賞者を決定します。

2011堀場雅夫賞 審査委員会（敬称略、順不同）

名誉審査委員長	堀場 雅夫（株式会社堀場製作所 最高顧問）
審査委員長	堀場 厚（株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長）
副審査委員長	馬場 嘉信（名古屋大学革新ナノバイオデバイス研究センター センター長）
審査委員	佐甲 靖志（理化学研究所 基幹研究所　主任研究員）
	濵地 格（京都大学大学院工学研究科　教授）
	辻 幸一（大阪市立大学大学院工学研究科　教授）
	Dr. David Birch, Professor of Photophysics, University of Strathclyde, Glasgow
	三宅 司郎（株式会社堀場製作所 先行開発センター バイオ技術担当マネジャー）
	青山 淳一（株式会社堀場製作所 先行開発センター チームリーダー）
特別審査委員	川合 知二（大阪大学 特任教授）

● 選考結果の通知

審査結果は、応募者に2011年7月末までにお知らせします。

● 授賞式および受賞記念セミナー

授賞式および受賞記念セミナーを、2011年10月17日（月）に京都大学芝蘭会館で実施します。あわせて受賞記念パーティーも実施します。

● 成果発信

受賞研究の内容は、本賞ホームページおよび弊社の技術情報誌（*Readout*, HORIBA Technical Reports）を通して、世界に向けて発信します。

● 応募用紙の送付先

堀場雅夫賞 事務局

〒601-8510　京都市南区吉祥院宮の東町2番地 株式会社 堀場製作所内
堀場雅夫賞 事務局
電話:075-313-8121(代)　FAX:075-315-4851
E-mail：info@mh-award.org　URL：http://www.mh-award.org/

Masao Horiba Awards
堀場雅夫賞

ご案内
2011

堀場雅夫賞募集に当たって

内容、性質、挙動が不明の物質を解明することは、科学者や技術者にとって大変重要なことであります。問題を解くには高度の科学、技術を駆使した分析器が必要となります。
ただ、その重要性と高度な技術を必要とする割には、一般社会は勿論のこと学界においてもその存在は大きなものではありませんでした。当賞が、地味ではあるが分析の基本をより確立する学究の徒に少しでも勇気を与えてくれることを願って、皆様からの応募をお待ちしております。

堀場雅夫

2011 堀場雅夫賞

Masao Horiba Awards

趣意書

弊社創立50周年を迎えた平成15年、HORIBAグループは計測技術研究に従事する社外若手研究者を対象とした賞を創設しました。本賞は、画期的な分析・計測技術の創生が期待される研究開発に従事する国内外の研究者・技術者を支援し、これにより科学技術における計測技術の地位をより一層高めることに貢献しようというものです。分析・計測技術の中でも堀場製作所が育んできた原理や要素技術を中心に毎年対象分野を定め、ユニーク、かつその成果や発展性を世界にアピールすべき研究・開発にスポットを当ててゆきます。

2011堀場雅夫賞の対象分野は、分析・計測技術に広く求められる超高感度化・超高速化を達成するための要素技術とします。

分析・計測技術の発展、ひいては科学技術の発展の歴史は、高感度化・高速化の追求の歴史と言っても過言ではありません。米国においてナノテクノロジーが国家的戦略研究目標とされて10年経った現在では、原子・分子スケールの現象を、ありのままの姿（リアルタイム）で分析・計測され、また応用される例が、学術分野を初めとして、産業界においても見られるようになりました。これらの発展を支えた技術としては、半導体プロセス技術、MEMS技術、原子・分子レベルまで制御された材料開発技術、分析・計測には欠かせない半導体レーザーなどの新光源技術、さらには細胞中の注目する部位へのマーカー技術など、様々な技術が挙げられます。
これらの技術は、分析・計測技術の発展はもちろんのこと、昨今のエネルギー問題、資源問題、食糧問題など、地球が抱える大きな問題に解決の糸口を提供する人智の結晶であり、今後もますます重要になると考えます。

2011堀場雅夫賞は、このような背景から、超高感度化・超高速化を達成するための要素技術を募集テーマとして設定いたします。対象とする計測原理は、近赤外からX線までの波長領域の電磁波を用いた手法であり、計測対象は、固体材料や溶液、さらには生体細胞中に存在する幅広い物質を対象とします。最先端の科学技術を支える分析・計測技術の研究に従事され、将来の分析・計測技術発展の担い手となられる方の積極的な応募を期待しています。

2011堀場雅夫賞実行委員長
株式会社 堀場製作所
代表取締役副社長　石田　耕三

応募要領

● 趣旨

世界の大学または公的な試験研究機関において、計測およびその応用に関する科学技術分野で顕著な業績を挙げつつある研究者・技術者を奨励表彰するものです。独創的な研究開発に意欲的に取り組んでいる国内外の研究者の応募を歓迎します。

● 対象技術分野

“電磁波（近赤外～X線）を用いた分析・計測技術の超高感度化・超高速化”に関するもので、下記のいずれかを測定対象とします。

1. 新エネルギー創生に寄与する固体材料についての、材料構造や組成分布の評価、あるいは添加物・異物の組成分布評価
2. 生体の生命活動に関与する液体中の溶存物質の定量
3. 細胞中生体関連物質の分子レベルリアルタイム分析

研究開発の対象は、原理やハード・ソフトの革新によるものから、前処理やサンプリング手法の革新まで、超高感度化・超高速化（測定時間の短縮）達成のための視点は問いません。ただし、実験室に設置可能な装置（超大型設備を除く）への適用の可能性があるものとします。

● 応募者資格

大学、公的試験機関に所属し、上記分野の研究・開発に従事し、以下のいずれかに該当する、研究者・技術者。

・上記対象分野において、学術上、技術上の優れた発見、発明を成すことが期待されること
・上記対象分野において、学術上、技術上の重要な問題の解決が期待できること
（年齢条項は設けておりませんが、本賞の趣旨に沿い、応募者の将来性を重視した審査を行います。）

● 表彰内容

本賞は、2011年10月17日（月）に京都大学芝蘭会館において授賞式を挙行し、あわせて賞状ならびに副賞を贈呈します。なお、副賞は、初年度に1件当たり50万円、さらに受賞翌年と翌々年にそれぞれ同額の助成金を支給します。なお、本賞ならびに副賞の受賞は、授賞式に出席し、応募研究を公表できること、ならびに上記の応募資格を有している事を条件とします。

● 応募

下記のものを堀場雅夫賞事務局まで提出ください。

1) 応募用紙　本賞ホームページ　http://www.mh-award.org/　よりダウンロードして頂くか、堀場雅夫賞事務局へご請求ください。所定事項を記入のうえ（英語記入ページも必須）、原本およびコピー8部を提出ください。

2) 推薦書　推薦人（応募者の所属長、あるいは相当者）が、推薦の理由を客観的に記述のうえ、原本およびコピー8部を提出ください。

3) 関連論文　当該研究開発に関連する論文（可能な限り英文のもの）を最大3編、別刷を計9部提出ください。

● 応募締切

2011年5月31日（火）堀場雅夫賞事務局必着